

# 妊娠初期、中期、新生児期における流産絨毛、羊水、末梢血の染色体検査の比較

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	妊娠初期、中期、新生児期における流産絨毛、羊水、末梢血の染色体検査の比較
倫理審査 受付番号	第2686号
研究期間	2017年 7月倫理審査承認日～2026年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に染色体検査を実施した患者さん 2000年 4月1日～2017年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義)

不妊症・不育症・先天異常症という3つの疾患概念は、原因が染色体異常である場合、その重症度の違いに過ぎないと考えられています。すなわち不妊症は染色体異常の程度が大きく受精卵の段階で自然淘汰し、不育症は染色体異常が中程度のため妊娠は一定期間継続するが流産し、染色体異常の影響が小さい場合には先天異常として出生します。そこで、妊娠初期、中期、新生児期における流産絨毛、羊水、末梢血の染色体検査結果を分析し、染色体異常核型の内訳や臨床成績を比較します。

(研究の方法)

当院及びKobaレディースクリニックは2006年4月1日から、府中のぞみクリニックは2011年4月1日から2017年3月31日までの間で、妊娠初期に自然流産し、流産手術時に絨毛を採取し、染色体分析可能であった症例を対象にします。羊水染色体検査は当院で2006年4月1日から2017年3月31日までの間に実施した症例を対象にします。新生児期に実施した末梢血の染色体検査は2000年4月1日から2017年3月31日までの間に当院で出生後、実施した症例を対象にします。対象症例について診療録を用いて後方視的に染色体検査の結果の内訳及び臨床成績について比較検討します。

(個人情報の取り扱い)

結果は学会に報告したり医学論分に発表される場合がありますが、その際に個人情報が漏洩することはありません。

**本研究に関する  
連絡先**

兵庫医科大学病院 産科婦人科  
教授 柴原 浩章 (研究責任者)

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1  
TEL | (平日 8:30~16:45) 0798-45-6481